

東日本大震災の復旧工事に係るアスベスト対策検証のための専門家会議開催要綱

1. 趣旨・目的

東日本大震災の被災地では、倒壊した建築物の解体やがれき処理が本格化しつつある。建材に含まれるアスベストがこれらの作業によって飛散し、労働者がこれにばく露されることが懸念されることから、防じんマスクの着用等の基本対策を定めて、実施しているところである。

今般、アスベスト対策の専門家で構成する「東日本大震災の復旧工事に係るアスベスト対策検証のための専門家会議」（以下「会議」という。）を開催し、環境省と連携しつつ、アスベストへのばく露防止対策を検証する。

2. 検証事項

(1) 復旧工事現場の周辺の大気中のアスベスト量を把握するためのモニタリングの実施

ア 大気中のアスベスト量を把握するための測定点、測定法等のデザインの決定

イ アのデザインに基づく測定の実施

(2) アスベストの飛散量に応じたばく露防止対策の検証

ア 測定によって得られた大気中のアスベスト量の測定結果の解析・評価

イ 測定によって得られた大気中のアスベスト量に応じたばく露防止対策の検証

3. 会議参集者

別紙参照

4. その他

(1) 本会議に座長を置き、座長は会議の議事を整理する。

(2) 本会議は、必要に応じ、参集者以外の者に出席を依頼することができる。

(3) 本会議は、原則として公開とすることとし、実施に当たり、企業活動のノウハウに係る事案等を取り扱う際には非公開とすることができる。

(4) 本会議の事務は、厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課が行う。